

春日井キャンパス・農学部附属農場にて収穫祭を開催



春日井キャンパス・農学部附属農場において、秋の恒例行事である収穫祭が開催されました。農学部の学生・大学院生、附属高校の生徒のみなさんや教職員など160人ほどが参加しました。当日は、学部長、農場長の挨拶から始まり、作物分野の担当職員からの刈り取り方法の説明後、稲の収穫作業を体験しました。

田植祭で植えられた「あいちのかおり」の苗は、猛暑の中でも、沢山の日光を浴びて、たわわな穂を実らせていました。収穫祭に参加された皆さんは、鋸鎌を片手に稲刈りに汗を流し、刈った稲穂をまとめて稲架（はざ）に掛け、天日干しにしました。手植えによる田植えや、手刈りによる稲の収穫、稲架掛けによる稲穂の天日干しなど、農業機械の普及に伴って、見かける機会が少なくなりつつある農作業を通して、実りの秋を満喫しました。

